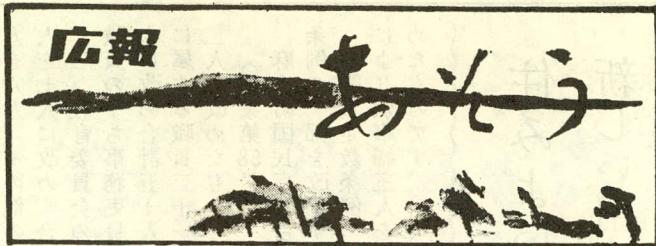


人口	
男	9,037人
女	9,278人
計	18,315人
世帯数	4,071戸



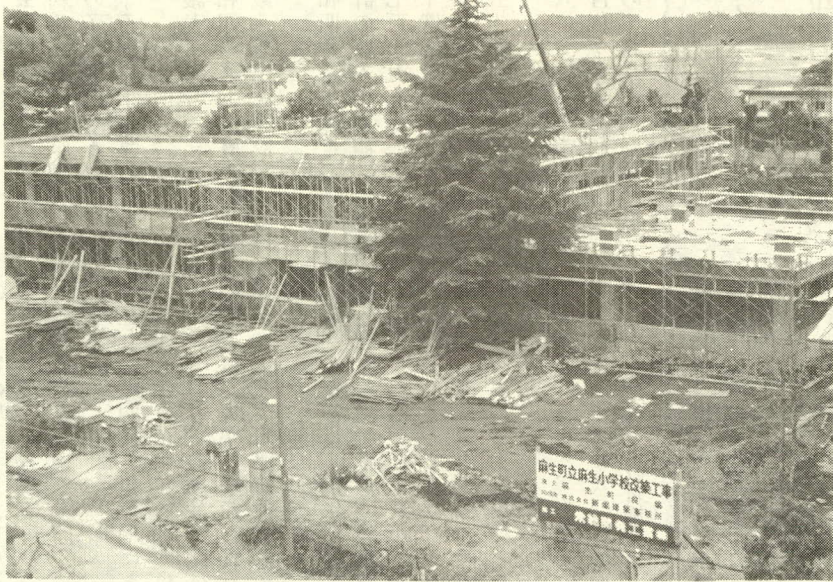
麻生町1561-9 麻生町役場
電話②0811(代) 麻生幸印
所人 麻生幸印
行刷 麻生幸印
発印 麻生幸印

- 12月のメモ
- 1日 消防ポンプ操法大会
 - 3日 県議選告示
 - 5日 PTA研修会、小高土地改良事業入札
 - 9、10日 給食センター運営委員研修
 - 11日 区長会役員会
 - 12日 田園都市建設役員会
 - 15日 県議選投票日
 - 16日 酪農組合役員会
 - 16、20日 滞納整理
 - 17日 公平委員会
 - 18日 郡遺族会婦人研修
 - 20日 総務委員会
 - 20日 年金相談、農業委員会
 - 23、24日 定例町議会
 - 25、26日 町県民税、国保税
 - 28日 国民年金保険料徴収
 - 28日 ご用納め

麻生小学校 改築工事進む

麻生小学校の改築工事第一期工事は、常総開発工業株式会社が、契約金一億七千七百万円、工期は八月十一日から来年二月二十八日までの二百二日間で請負いました。

この工事は、十一月にコンクリート打ち込みが終り、躯体工事は完了、現在は、窓枠サッシの取り付け、内装工事と共に浄化槽の工事がおこなわれており、総体的に順調に進行しています。



麻生小学校改築工事

火災のシーズン

消防機庫に 消火器を備えました

麻生町では、麻生町消防団三十七部全部に、粉末四型消火器を各六本備え付けて、火災予防に役立てることにしました。

最近の火災は、油、電気、ガスが原因のものが増え、初期に、消火器を使用すれば大火を未然に防ぐことができます。

の駆除と同じように全町が一体となり、いっせいに駆除活動をおこなえば効果的な駆除ができます。

町では、本年も十二月二十五日、いっせいに薬剤駆除をおこなうことになりました。

殺そ剤は、各区長さんを通じて無償で配布します。使用方法は、包装用紙に説明が印刷されていますので、全町が戸残らず実施されますよう皆さんのご協力をお願いします。

富田老人クラブへ、富田の浜田さくさんは一万円、杉山貞雄さんは六千円を贈りました。

井貝老人クラブは、小高小學校へ竹ぼうき二十五本、ぞうきん百枚を贈りました。

麻生の普沼志郎さんは、玄通老人クラブへ五千円贈りました。

善意銀行へ次のかたが預託されました。

新原老人クラブは、麻生小學校へ竹ぼうき十六本、ぞうきん三百五枚。

岡老人クラブへ、岡の市場惣次さんは四千元、宇崎の海老沢宗衛さんは一千元。

麻生町軍鶏保存会は、福祉事業へ五千元。

小高の箕輪金次郎さんは、前谷老人クラブへ二千元。

新宮老人クラブは、社会福祉に五千元。

白浜の横田金章さんは、白浜子供会へ二千元。

矢幡老人クラブは、太田小學校へ竹ぼうき二十本、ぞうきん百枚。

麻生の普沼志郎さんは、下瀨老人クラブへ五千元。玄通子供会へ五千元。

石神第一・二老人クラブへ石神の山野美治さんは各二千元、同門井仁さんは各五千元。同高橋祖道さんは各五千元。同大盛春雄さんは各二千五百円。

大会には、町長、議長、教育長等の町関係者と歴代役員を招待、歴代団長に感謝状と記念品が贈呈されたあと、諸先輩から祝辞がありました。

青年団創立当時と現在では、会員の数も激減しており社会環境も変わっていますので、活動の目的等も転換期になってきているようです。

その意味で、式典終了後「青年活動の現状と今後の方向」という演題で、茨城県社会教育センター所長鈴木光男先生の講演、そして、先輩達との懇談会を催した事は、本大したと思います。

医学のために 献体を

第一期工事では、普通教室六教室(全教室教十八)、職員室、放送室等管理棟の建設をおこない、その他の普通教室、物別教室は二・三期工事

に分け、本校舎の建設は、五十一年度に完成する予定です。今年度は、六年生の卒業式が新校舎でできるよう、今後の工事が順調に進むことを期待しています。

より良い医師を育てるための献体運動にご協力ください。白菊会についてくわしく知りたい方、入会を希望される方は、白菊会筑波大学支部(新治郡桜村筑波大学医学部専門学群気付 ①(三)元〇五〇二)へ連絡してください。

このように大切な人体解剖学実習のために自らの遺体を医科系の大学へ寄贈することを献体といいますが、白菊会は家族の同意を得て、自らの遺体を大学へ寄贈することを予約登録した献体篤志家の集まりで、東京大学にある本部を中心に全国三十三大学に支部を持つ団体です。死後にも人の世のため貢献できるという喜びと、日ごろの医学のおか

きびしい規制が設けられていることは、みなさんの権利、財産を保護し、取引の安全を確保するという、つまるところは住民各位の利便を図ると共に、この証明が今日の社会に於て極めて重要な役割を果たしていることからあります。この点各位のご理解とご協力をお願いいたします。

◎「印鑑登録証」は印鑑と同様に大切に保管し取扱って下さい。(紛失しないです)

印鑑証明について

現在の印鑑証明制度(間接証明方式)は、昨年七月一日から施行され、すでに一年半になります。一度印鑑の登録をしてしまえば、後は「登録証」のみで印鑑を持って来なくとも証明書が発行される利便があります。

現在利用している現状ですが一部の方にはまだこの制度を理解いただけず窓口でトラブルをひきおこしがちなのは残念です。又「登録証」を無くしたからと言って再交付を申請する方が案外多いのですが亡失は再交付の事由ではなく登録抹消の原因となり新規

登録ということになります。紛失したからと言って簡単に申し出ることもなく一度念を入れて良く探してからお出で下さい。

窓口担当職員は公平にそして正確にしかも迅速に事務を処理することによって住民のみなさんの便宜を図るべく心掛けております。この為にはきめておられるルールは確実に守つていた、かねばなりません。印鑑の証明や登録に特に

ねずみ退治 いっせいに

25日

ねずみ退治 いっせいに

25日

ねずみ退治 いっせいに

25日

ねずみ退治 いっせいに

25日

青年会 20周年記念式典

麻生町青年会(貝塚順一会長、会員七十七名)は、麻生町連合青年団が昭和三十年に発足して以来、本年で二十年を迎えるため、麻生町青年会創立二十周年記念大会を、十一月二十四日、麻生公民館麻生分館(旧麻生税務署)で開催されました。

大会には、町長、議長、教育長等の町関係者と歴代役員を招待、歴代団長に感謝状と記念品が贈呈されたあと、諸先輩から祝辞がありました。

青年団創立当時と現在では、会員の数も激減しており社会環境も変わっていますので、活動の目的等も転換期になってきているようです。

その意味で、式典終了後「青年活動の現状と今後の方向」という演題で、茨城県社会教育センター所長鈴木光男先生の講演、そして、先輩達との懇談会を催した事は、本大したと思います。

富田老人クラブへ、富田の浜田さくさんは一万円、杉山貞雄さんは六千円を贈りました。

井貝老人クラブは、小高小學校へ竹ぼうき二十五本、ぞうきん百枚を贈りました。

麻生の普沼志郎さんは、玄通老人クラブへ五千円贈りました。

善意銀行へ次のかたが預託されました。

新原老人クラブは、麻生小學校へ竹ぼうき十六本、ぞうきん三百五枚。

岡老人クラブへ、岡の市場惣次さんは四千元、宇崎の海老沢宗衛さんは一千元。

麻生町軍鶏保存会は、福祉事業へ五千元。

小高の箕輪金次郎さんは、前谷老人クラブへ二千元。

新宮老人クラブは、社会福祉に五千元。

白浜の横田金章さんは、白浜子供会へ二千元。

矢幡老人クラブは、太田小學校へ竹ぼうき二十本、ぞうきん百枚。

麻生の普沼志郎さんは、下瀨老人クラブへ五千元。玄通子供会へ五千元。

石神第一・二老人クラブへ石神の山野美治さんは各二千元、同門井仁さんは各五千元。同高橋祖道さんは各五千元。同大盛春雄さんは各二千五百円。

大会には、町長、議長、教育長等の町関係者と歴代役員を招待、歴代団長に感謝状と記念品が贈呈されたあと、諸先輩から祝辞がありました。

青年団創立当時と現在では、会員の数も激減しており社会環境も変わっていますので、活動の目的等も転換期になってきているようです。

その意味で、式典終了後「青年活動の現状と今後の方向」という演題で、茨城県社会教育センター所長鈴木光男先生の講演、そして、先輩達との懇談会を催した事は、本大したと思います。

第8回臨時町議会

昭和48年度会計決算認定

町職員定数を改正

議会に付す契約金等は三千万円以上に

第八回臨時町議会が、十一月十六日開催され、昭和四十八年度麻生町一般会計歳入歳出決算認定など六議案が原案どおり可決されました。

麻生町職員定数条例の一部を改正する条例 主に診療所廃止による職員減のため、町長の事務部局の職員のうち、技術職員十四人を六人、その他の職員十八人を七人に改め、合計百一人とし、教育委員会の事務局の職員のうち事務職員八人を七人に改め合計五十人。白帆荘に属する職員二十一人を二十二人に改めたものです。

麻生町国民宿舎白帆荘管理条例の一部を改正する条例 町職員定数条例の一部改正により炊事婦三人を四人と改めたものです。

歳入についてみますと、地方交付税が歳入総額の四二・二割を占めており、地方交付税、

歳入については、普通建設事業費が前年より八〇割の増となったことは、教育施設に

住みよいまちづくり 新しい用途地域の都市計画(二)

二、容積率の限度

市街地では建物の容積率が大きすぎると道路などの交通施設やその他の公共施設がた

特性に応じた建物の容積率の限度が定められることになり

容積率は、建物の各階の床面積の合計の敷地面積に

対する事業が積極的に推進された結果です。 義務的経費である人件費、扶助費、公債費をあわせると

昭和四十八年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

たばこ作りで 豊かな生活を

- 物価の上昇による買入価格の年々引き上げられ、需給関係による不安がなくなり、安定した収入が得られます。

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

昭和三十九年度の国保事業 健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

短歌

重々と早稲積みし舟のゆく 日の照る江間の水みだしつつ 精米機よりほとばしり出づる新米は 熱おびて艶あり双掌に掬ふ

消防ポンプ 操法大会開かれる

第六回麻生町消防ポンプ操法大会が、十二月一日、麻生中学校グラウンドで行なわれ、

競技は、小型動力ポンプの部と自動車ポンプの部の二種が行なわれ、熱戦の結果、成績は次のとおりとなりました。

- 〔小型動力ポンプの部〕 一位 四分団第二部(矢幡) 二位 九分団第三部(舟子) 三位 四分団第一部(矢幡) 四位 六分団第一部(青沼) 五位 二分団第一部(田町)

- 〔自動車ポンプの部〕 一位 本部 二位 三分団第三部(富田)

戸籍の窓口

Table with 2 columns: Name (氏名) and Address (住所). Lists names like 世帯主, 富田, 高野, etc.

麻生町全域が 建築確認申請区域となる 都市計画法により麻生町全域が10月31日都市計画区域の指定を受けました。